昭和51年
11月1日号
第129号
発行所　津奈木町役場
編集　総務課
印刷所　旭印刷所

町報 つなぎ

人口と世帯
津奈木町　10月1日現在

人口	6，368	人
男	3，061	人
女	3，307	人
世帯	1，683	世帯

みんなの声

移動町政結果

昭和五十一年度移動町政は、九月一日、内野、上下門会場から始め、途中十七号台風のため延期しましたが、九月十七日まで辻部落を残して全部終了しました。

今年は、夜八時から十時までの二時間で各会場共良く時間が守られた事は、町民の町政に対する関心と御理解が深い証左であると感謝致します。出席率は中尾部落の七九・二％を筆頭に全体では四七％でした。役場からの出席者は、町長、助役を班長に二班編成とし各課係長以上全員が出席し、町民の声を各担当者が直接お聞きしお答えする様に致しました。

町政報告では
○町財政確立のための
(イ) 干拓地転用後の経過と今後の利用計画
(ロ) 町有林、権利買収と今後の経営計画
○幼稚園通園バス購入と運行計画
○有線放送の町営による広報計画
○ごみ焼却場建設計画
○農村基盤総合整備事業

その他各部落別関係事項についての説明を行ない、町政全般にわたる質疑がなされました。質問の内容についてみますと、別表一、二に表しています通り各会場共、建設課に対するものが大半を占めています。又部落別にみますと、一つの問題が提起されるとそれに関連した質問が集中し、他の部門に対するおたづねが少なかった面があります。

質問の中で、役場職員の勤務態度、応接についての御指摘がありました。職員一同充分反省し住民サービスに徹する様努力致したいと思います。

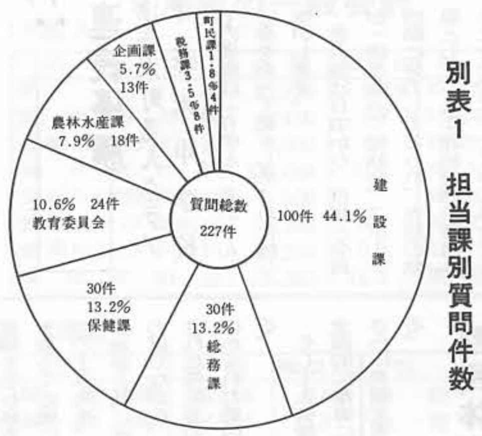
町計画や、色々の制度、行事についての広報が行き届かないという御指摘もありましたが、できるかぎり町報等でお知らせしていますので、良く読んで戴くとともに有線放送が完成しますと皆様の御期待に添えるよう努める覚悟です。

その他お気付きの点がありましたら、どんな事でも、何時でも結構ですから総務課まで御指摘、御指導くださいますようお願い致します。

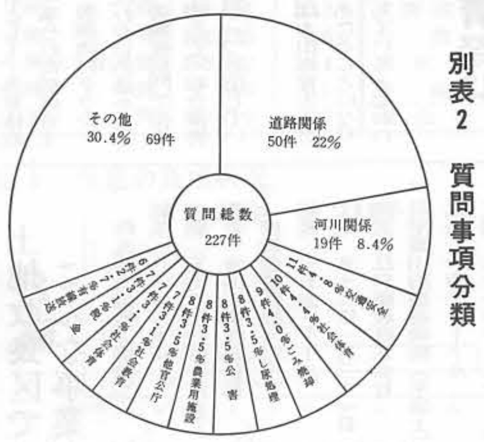
各会場で説明致しました通り、提起された問題について即答したものは早速実行しますし、予算を伴う案件については財政の許す範囲で早急に実施できる様計画致す予定でございます。

とにかく町民の皆様とひざつき合わせて話合い、明るい豊かな町造りの対話ができた事に感謝申し上げ、貴重な御意見は今後の町政の中に充分活かしてゆきたいと思います。

別表1　担当課別質問件数



別表2　質問事項分類



干拓地売買契約調印

日本珪素工業株式会社と

町では、干拓地を農用地以外に利用できることになったのに伴い国、県等から仰いでいた補助金等を返すことになり、昭和四十九年度から一六〇、八九六千円（金利を含む）を返しているが、来年三月には二〇三、七〇八千円を返すことになっている。

それで、干拓地でできた負債は干拓地を処分して整理すると云う町の基本方針に基づき、その資金調達のため、日本珪素工業株式会社に三三、〇五八平方メートル（一万坪）を一億三千万円で処分することとし、九月の定例議会に提案議決を得たので十月十五日町長室で調印式が行なわれた。

これで町の補助金等の返還は金額返済できる見通しとなった。

干拓地の総面積四五八、八七六平方メートルのうち、住宅団地として二二、三〇三平方メートル、誘致企業の九州水産株式会社に五〇、〇〇〇平方メートル、今回の日本珪素工業株式会社への三三、〇五八平方メートル、合計して一〇五、三六一平方メートルを処分したことになり、残地は、三五三、五一五平方メートルとなった。

尚日本珪素工業株式会社は、フェロシリコンや金属珪素の製造ででた廃棄物をもって埋立造成を行ない、造成後は、工場の研究所や製品保管庫並びに社員の福祉施設として、テニスコートやバレーコート等を作り社員住宅も建設するが、社員の住宅需用の都合では、一部一般へも住宅地として売却する予定である。

火災は人災・防ぐはあなた

昭和五十一年秋季全国火災予防運動が、十一月二十六日から十二月二日までの一週間実施されます

(1) 家族みんなが防火のそなえ
ア　でかける前、やすむ前には必ず火の元を点検しよう。
イ　寝たばこやたばこの投げ捨ては、絶対に止めよう。
ウ　ガスコンロや暖房器具は使い方に気をつけよう。
エ　お年寄りや幼児の安全な避難方法を考えよう。
オ　消火用具や消火用水の備えをしよう。
カ　ホテルに泊る時などは、避難の方法を確かめておこう。

(2) 全員そろって職場の防火
ア　消防計画など防火のための計画をよく理解しておこう。
イ　消火訓練、避難誘導訓練を実施しよう。
ウ　火気の使用場所は、整理、整頓して安全を確めよう。
エ　通路や出入口などは、避難しやすくしておこう。
オ　ガソリンや灯油などの危険物は安全に管理しよう。

津奈木町から、不幸な火災事故を出さないよう、町、消防団が一体となって、この運動を強力に推進致します。町民一人一人が自覚し御協力をお願い致します。

津奈木町消防団
町防災係

♡水俣芦北郡民体育体会　十一月七日　水俣市ひばりが丘運動場

「土づくり運動本部」設置

近年における農業労働力の減少により経営の単一化等農業事情の変化は、土壌管理への関心をうすくしつつあります。

そのため地力の減退、農業生産力の低下が懸念されております。

そこで農業生産力の向上と安定を図るには先ず土づくりが急務であるので、地域の実情、土壌の諸性質に対応して有機物資源としての家畜の排せつ物、堆きゅう肥、稲わら、麦がら等の農作物の残さ飼料作物等、生態系を生かした農業経営の確立を目標として全町下に土づくりの理念をふるい起してもらうため、本町に土づくり運動推進本部を設置致しました。

尚推進にあたっては、各種農業団体等を通じて実施致しますので町民各位のご協力をお願い致します。

本部委員次のとおり。

本部長	町長	六車孝吉
副本部長	助役	諫山貢
〃	農協長	寺本一喜
〃	農委会長	沢田進
〃	議会議長	川崎一幸
委員	農協果実部長	新立和市
〃	〃畜産部長	竹田昭二
〃	農業委員	森山勝義
〃	議会議員	長浜国男
〃	〃	沢井武市
〃	〃	原田繁信
事務局		
事務局長	農林水産課	元村壮
事務局次長	〃	開田正
〃	農協	宮森一孝
事務局局員	農林水産課	斉藤五助
〃	農協	白坂松男
〃	〃	斉藤卓也
〃	農林水産課	真野修明
〃	〃	福崎靖夫
〃	〃	福島伸佳

九州水産株式会社 建築着工

干拓地が農村地域工業導入地区の指定を受けてから、最初の誘致企業である九州水産株式会社は、本年六月から敷地造成を急いでいたが、この程敷地がほゞ完成したので、干魚加工場と冷蔵保管庫の建築に着工、去る十月九日大安吉日を選んで着工式が行なわれた。

建築物の建坪は、干魚加工場が三〇四・八平方メートル、冷蔵保管庫が二、八五四・九六平方メートル、管理棟が四六二・五三平方メートルで合計三、六二二・二九平方メートル（一、〇九七・六六坪）が昭和五二年一月三一日完成を目途に大和ハウス株式会社が主体になって施工する。

昭和五二年二月中旬操業開始の予定で、イワシ、アジ、サバ等の干魚製造と、養殖漁業の飼料を冷蔵保管、近海の養殖漁業者への飼料供給を行なうほか、甘夏みかんの現地低温貯蔵庫としても利用される予定である。

夜の通行に 夜光反射材を

これからは夜が長くなり、服装も黒っぽくなります。雨天の日など特に運転者には見えにくく、多くの交通事故が発生しています。

そこで役場では夜間あなたの身を交通事故から守るために夜光反射材のあっせんをしております。ご入用の方は役場総務課まで申し込んでください。

価格　「カバン、ハンドバック、傘、ステッキ等用八十円
　　　「くつ、下駄、自転車等用百円
申込期日　十一月十日

昭和50年度決算状況（一般会計）

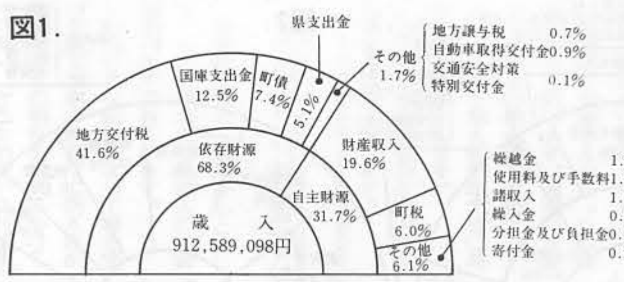
歳入

歳入総額 912,589,098 円でありますが、図1でおわかりのように、自主財源は 31.7 ％足らずであり、殆んど地方交付税や、国県支出金等が主なものであります。皆さんが収められた町民税、固定資産税等の町税は 55,260 千円で比率にしてわずか 6.0 ％であります。

表1　歳入決算項目別構成比
（単位　千円）

区分	金額	構成比	区分	金額	構成比
町税	55,260	6.0	県支出金	46,638	5.1
地方譲与税	6,544	0.7	財産収入	179,226	19.6
自動車取得交付金	8,241	0.9	寄付金	1,957	0.2
地方交付税	379,403	41.6	繰入金	7,936	0.9
交通安全対策特別交付金	712	0.1	繰越金	16,652	1.8
分担金及び負担金	5,359	0.6	諸収入	9,710	1.1
使用料及び手数料	13,293	1.5	町債	67,700	7.4
国庫支出金	113,958	12.5	歳入合計	912,589	100.0

図1.



国民健康保険事業特別会計

歳入決算額 244,396 千円、歳出決算額 217,834 千円である。歳入決算額のうち表4、図4のとおり 87,931 千円（36.0 ％）が自主財源で残り 64.0 ％が国庫支出金で依存財源となっている。尚健康保険税は 53,823 千円で全収入のわずか 22.0 ％となっている。

歳出面では表1、図5でわかるように、保険給付費が 198,072 千円で全体の 90.9 ％で一世帯当り約 185,635 円の給付費となっている。

表4　昭和50年度津奈木町国民健康保険特別会計決算書（単位　千円）

歳入			歳出		
区分	金額	構成比	区分	金額	構成比
国民健康保険税	53,823	22.0	総務費	9,648	4.4
使用料及び手数料	7	−	保険給付費	198,072	90.9
国庫支出金	156,465	64.0	基金積立金	9,318	4.3
県支出金	12	−	諸支出金	796	0.4
財産収入	432	0.2			
繰入金	4,000	1.6	合計	217,834	100.0
繰越金	18,052	7.4			
諸収入	11.605	4.8	実質収支	26,562	
合計	244,396	100.0	うち基金繰入	6,000	

図4.

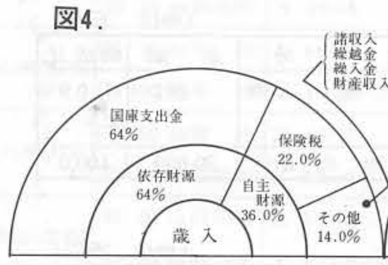
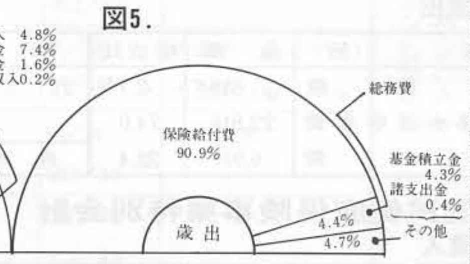


図5.



農業共済事業特別会計

表5
（単位　千円）

歳入			歳出		
区分	決算額	構成比	区分	決算額	構成比
1.農作物共済勘定	1.599	2.9	1.農作物共済勘定	1.503	2.8
2,蚕繭共済勘定	67	0.1	2.蚕繭共済勘定	40	−
3.家畜共済勘定	46,755	83.8	3.家畜共済勘定	46,063	84.3
4.業務勘定	7,383	13.2	4.業務勘定	7,068	12.9
合計	55,804	100.0	合計	54,674	100.0
実質収支			1.130		

図6.

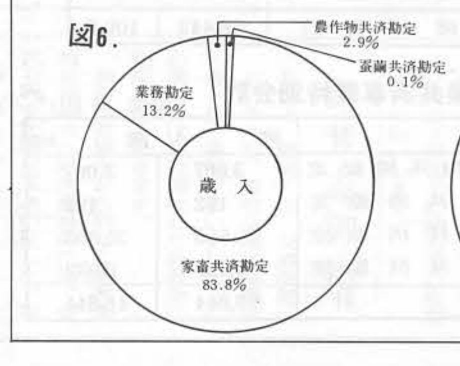
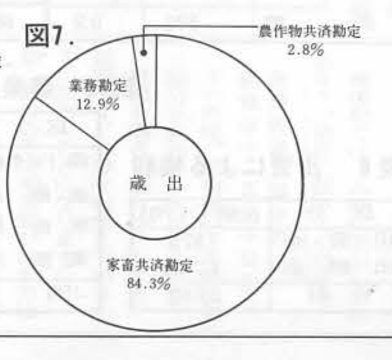


図7.



歳出

歳出総額 900,290,429 円でありますが、項目別には図2のとおりであります。

又、性質別にわけると図3のようになり、建設事業等の投資的経費が 45.3 ％を占め、人件費等の義務的経費が 38,8 ％を占めております。

表2　歳出決算項目別構成比
（単位　千円）

区分	金額	構成比	区分	金額	構成比
議会費	23,618	2.6	消防費	10,683	1.2
総務費	138,811	15.4	教育費	162,141	18.0
民生費	110,815	12.3	災害復旧費	6,197	0.7
衛生費	30,959	3.4	公債費	33,830	3.8
農林水産業費	120,963	13.4	諸支出金	167,616	18.6
商工費	492	0.1			
土木費	94,165	10.5	歳出合計	900,290	100.0

図2.

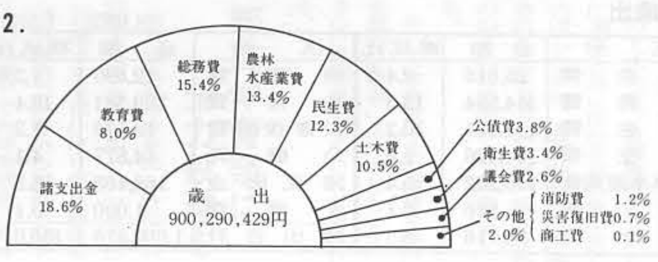
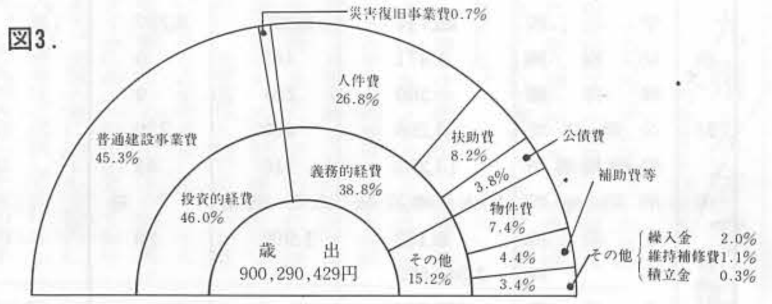


表3　歳出決算性質別構成比
（単位　千円）

	区分	金額	構成比
義務的経費	人件費	241.392	26,8
	扶助費	74,214	8.2
	公債費	33,830	3.8
	計	349,436	（38.8）
投資的経費	普通建設事業費	407,995	45.3
	災害復旧事業費	6,197	0.7
	計	414,192	（46.0）
その他	物件費	66,703	7.4
	維持補修費	9,807	1.1
	補助費等	39,906	4.4
	積立金	2,883	0.3
	投資及び出資金	142	−
	貸付金	400	−
	繰出金	16,821	2.0
	計	136,662	（15.2）
歳出合計		900,290	100.0

図3.



簡易水道事業特別会計

歳入決算額 72,454 千円、歳出決算額 71.606 千円である。

表6　昭和50年度津奈木町簡易水道事業特別会計決算書
（単位　千円）

歳入			歳出		
区分	決算額	構成比	区分	決算額	構成比
簡易水道収入	4,247	5.9	総務費	464	0.6
負担金	330	0.5	簡易水道事業費	68,338	95.4
国庫支出金	5,000	6.9	公債費	2,804	4.0
県支出金	187	0.3	合計	71.606	100.0
繰入金	8,738	12.1			
繰越金	588	0.8			
寄附金	234	0.3	実質収支	848	
諸収入	30	−	うち基金繰入	200	
町債	53,100	73.2			
合計	72,454	100.0			

図8.

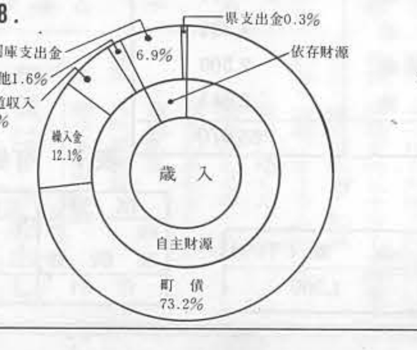
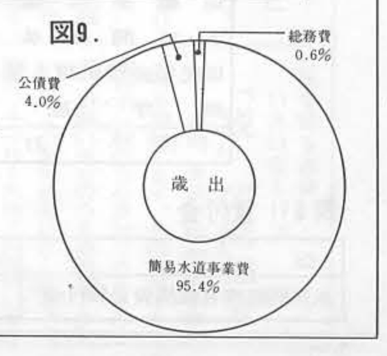


図9.



◇秋期火災予防運動　自十一月二十六日至十二月二日

やった!!
五年連続優勝
津奈木町老人クラブ
津奈木中学校

☒ 老人スポーツ大会

〃只今入場していますのは、四年連続優勝の津奈木町老人クラブで緒方団長を先頭に堂々の入場です〃

赤、青、黄のユニフォームもすばらしい御年寄の祭典、第五回芦北地区（水俣市、芦北郡）老人スポーツ大会が、秋晴れの十月十六日芦北町総合グラウンドで開催されました。

この大会は昭和四十七年より、老人の健康増進と、生きがいを高める目的で開かれているもので年々盛んとなっています。

今年から新しく、ゲートボール競技も加わり、十三種目に熱戦がくりひろげられました。

なかでも本町のほこる徒歩競技はすばらしいもので、福島円太さんの若人顔負けの力走には他町の人達も驚く程でした。

又観衆を沸かせたのは八十三才元村キクさん（町中）の元気な独走でこの記録に他市町が挑戦できるのはいつになるだろうかと称賛の声があがりました。このほか、日野忠延さん、長浜マツエさん、下藤マツヲさん、藤本兵五さん、緒方孝行さん、成田トエさん、浜田ハルモさんがそれぞれ入賞、その他の各選手もよく健斗されました。この他、玉入れ、輪投げ、ボーリング、的当て、ゲートボールドリブルリレー、順送球に二〇四名の選手、多数の応援団が一丸となっての努力が、水俣Bチームに一、五点差をつけての優勝となりました。他町の人達が口々に「津奈木にゃ、どきゃんしてん勝ちきらんばい」と、この見事な勝利、五年間も続けての優勝は「今頃ん、若かもん」に身をもって範をしめされた様な気がします。

老人会は日頃から、役員と会員が一体となって勉強会、スポーツ活動に努力しておられ、当然の結果として、五年連続優勝を獲得されたものです。とにかくおめでとうございます。

今度は町民こぞって

!!郡民体育祭に頑張らなくちゃ!!

☒ 中体連

第二九回芦北郡中体連陸上競技大会は十月十八日佐敷中で行われた。競技は大会前より優勢を伝えられていた田浦中との文字通りの大接戦に終始したが、よく健闘しついに総合優勝五年連続の金字塔を打立てることができた。

その内容については、得点が示すように

	◉総合優勝	。女子	。男子
一位	津奈木 243	津奈木 112	田浦 145
二位	田浦 224	田浦 79	津奈木 131
三位	佐敷 93	湯浦 42	吉尾 64

女子の圧勝と男子の最善の努力による〃和〃による勝利と言える。

昨年の千々岩、一昨年の池崎、浜田といった切り札的選手こそいないものの男女粒揃いという層の厚さがどん底での勝利を得たと思われ、その要因は女子の新人の台頭、陸上競技部員の奮起、全生徒の協力が挙げられよう。

特に中長距離走四百、八百、千五百、一、二、三年、五千米は全種目完全勝利といった伝統の力も加えられ、三太郎駅伝にも大きな力となりえる事を証明した。

そして、これらの秀れた選手と成績を生む裏方として、当日休暇を取って応援に来られた前体育主任の上水先生。放課後のグランドに選手と共に沈む夕日の陰を長くのばしながら、各競技部門で指導された先生方の姿こそ、総合優勝のかくれた要因の一つと信じている。

そして大会後は本田体育主任が全面的に指導にあたることになりさらに発展充実していくと思われる。

郡民体育祭に全力投球を

第六回水俣市芦北郡（各町）対抗陸上競技大会が来る十一月七日（日曜）水俣市ひばりが丘運動場（三号線添で初野から水俣への下り坂の右側）で九時半開会、十時から競技が開始されます。

本年は既に中体連で津奈木中学校が五年連続優勝、又老人会も郡大会で五年連続優勝の快挙をなし遂げています。郡市民体育大会では、津奈木町は過去二年間連続優勝した事があります。

各種目に欠場さえなかったら優勝出来ると思います。選手の方は大会当日を目標に練習を行なうと共に、体調を整え郡市民大会に是非出場方お願いします。

町民の皆様の御協力と絶大なる御声援をお願い致します。

あなたは検察審査会をご存じですか

審査員は選挙人名簿をもとにして、くじで選ばれた民間人の代表者十一人でできています。

いろいろな犯罪によって害を受けた人で警察や検察庁に訴えたが検察官がその事件を裁判にかけてくれない、どうも納得がゆかないとお考えの方はないでしょうか？

もしありましたら今すぐ検察審査会に申し出て下さい。

‖費用は一切かかりません‖

検察審査会は検察官の処分や検察庁の仕事のやり方全体にわたって改善すべき点があれば是正するようその長である検事正に意見を述べるところです。

八代市松江城町一ー四一
裁判所内（TEL②二一七五番）
八代検察審査会事務局
八代検察審査協会

交通機動隊表彰さる

この程毎朝街頭に出て下さる方で組織している交通指導隊が、県知事より交通安全功労者表彰を受けました。隊員は左記の人達ですが、八十九町村の中から津奈木町交通指導隊だけが受彰しました。

伊藤一吉　古川秀喜
六車幹男　岡本正男
久村末喜　沢井則夫

土地改良区ではこんな事業を行っています

一、柞丸農道舗装（福浦）
延長　八六メートル
工期　五十二年一月十日まで
業者　諌山工業株式会社

二、深溝農道新設（竹中）
延長　一五五メートル
工期　五十二年一月三十一日
業者　江口建設株式会社

三、平国川内農道舗装（平国上）
延長　一四〇メートル
工期　五十一年十月三十日まで
業者　野崎土木

四、山野農道補装（日添）
延長　一七五メートル
工期　五十一年十月三十日まで
業者　野崎建設

五、平山農道舗装（上下門）
延長　一五〇メートル
工期　五十一年十月三十日まで
業者　大園組

六、倉谷農道舗装（倉谷）
延長　三〇九メートル
工期　五十一年十一月二十日
業者　福長建設

七、上下門農道舗装（上下門）
延長　三五四メートル
工期　五十一年十一月二十日
業者　坂口建設

八、川南農道舗装（浜崎）
延長　二〇七メートル
工期　五十一年十一月二十日
業者　大園組

九、母子農道新設（日当）
延長　二九四メートル
（近日入札予定）

十、荒崎農道新設（日当）
延長　二〇〇メートル
（近日入札予定）

十一、河原農道新設（町中）
延長　一四二メートル
（近日入札予定）

平国川内線舗装現場

九州大会でも優勝
大会新２つ樹立
津奈木スイミングクラブ

去る九月二十五日、二十六日に福岡県営プールにおいて開催された「第八回九州ジュニア水泳記録会」において輝かしい成績が生まれました。

津奈木小学校五年生の山崎里美さんは、五十メートル平泳と百メートル平泳の両種目に九州大会新記録で見事優勝し二個の金メダルを獲得しました。先に行われた熊本大会でも、大会新で優勝をしており、文字通り九州での第一人者になることができました。タイムを比較してみると全国年令別最高タイムにあと一秒に迫っております。全国大会に出ても三位内に入賞できるほど成長して参りました。この九州大会には十名の選手が出場しましたが、津小五年生の橋口信二君、津中一年の新立拓哉君等も堂々、自由形で第五位に入賞し、表彰台にのぼることができました。

また、各選手とも自己のベストを出す好記録をつくり、今や津奈木の名は九州全体に広がってまいりました。この大会で一応本年度の大会は終了することになりますが、来年度をめざして、津奈木スイミングクラブの各選手は、まだまだ泳ぎ続けております。十二月頃まで練習をやり、来年度は三月頃から本格的に練習をやる予定です。どうか町民の皆様方の暖かい御支援を御願い致します。

最後になりましたが、今度の九州大会出場に際しては、町当局をはじめ、町民の多数の皆様方から暖かい御支援をいただき誠にありがとうございました。紙上で失礼ですが、深く感謝の意を表します。

津奈木スイミングクラブ
責任者　塚本　宏

学年	氏名	種目	予選順位とタイム	全体の順位	
3	大園祐子	(B) 50 m自由形	9 43−2	60／69人中	
4	下藤強美	(B) 50 m背泳	1 45−6	7／24	決勝補欠
		(B) 50 m自由形	3 40−6	42／69	
5	山崎里美	(B) 50 m平泳	1 40−8	1／38	大会新（金メダル）
		(B) 100 m平泳	1 1−32−3	1／28	大会新（金メダル）
5	大園明子	(B) 50 m背泳	2 46−0	8／24	決勝補欠
		(B) 50 m自由形	2 38−6	23／69	
5	溝部由起	(B) 50 m自由形	2 38−0	17／69	
		(B) 100 m自由形	1 1−23−3	12／43	
5	橋口信二	(B) 50 m自由形	2 33−9	5／115	入賞
		(B) 100 m自由形	3 1−17−8	8／72	決勝補欠
中1	真野康彦	(C) 50 m平泳	1 42−1	13／37	
		(C) 100 m平泳	4 1−36−0	27／36	
中1	大園哲郎	(C) 50 m背泳	5 41−4	18／28	
		(C) 100 m自由形	5 1−17−0	39／74	
中1	新立拓哉	(C) 100 m自由形	6 1−08−3	5／74	入賞
		(C) 200 m自由形	6 2−39−5	18／53	
高1	大園和史	(D) 100 m平泳	7 1−31−8	25／27	
		(D) 200 m平泳	6 3−18−5	18／20	

ふるさとの民芸と味まつり

この度、新しいふるさとづくりの立場から、県内市町村の名産、特産品の再発見につとめ広く地域の特産を展示して、そのPR販売と販路開拓を図るため左記日程でふるさとの民芸と味まつりが開催されることになりました。

これは県内六シリーズにわけて催されており、今回は八代地方、芦北水俣地方シリーズとなっております。

そこで本町でも津奈木町コーナを設け、庭石、牛ふん発酵堆肥、亀万酒等の外数多く出品することになりましたので、町民皆様の多数ご参観下さるようお知らせします。

記

期日　十一月十一日～
　　　十一月十六日　六日間
場所　岩田屋伊勢丹　七階催場

税を知る週間
11月11日～17日

「税」の勉強会

十一月期、青年学級『租税学習会』を開催します。今回は青年を問わず一般の方も参加できますので、お誘い合せのうえ御出席下さいますようお知らせいたします。

期日　十一月十六日　火曜日
時間　午後七時三十分～十時まで
場所　中央公民館　和室
内容　◦映画フォーラム（二巻）
　◦税金のゆくえ
　◦税金のしくみ
　◦税金のあらまし
　◦質疑応答
指導　八代税務署
　津奈木町税務課

年賀はがき売出し

昭和五十二年お年玉つき年賀はがきの売出日は

十一月五日です

郵便局では、八時に売出しを始めます。早目に買ってください。

所得税第二期分の納期は十一月三十日まで

十一月は、所得税の予定納税第二期分を納めていただく月です。期限を過ぎて納付されますと、延滞税など余分な税金まで納付していただくことになりますので、第二期分の予定納税額がある方は十一月三十日までに納めていただくようお願いします。

御芳志御礼

平国上　野崎　屯　父貞次郎

右の方から、町社会福祉協議会へ金一封ご寄付下さいました。この寄付金は町民福祉のため有効に利用させて戴きます。

尚町体育協会から同じく町社会福祉協議会へ町民福祉のため、金弐万円をご寄付下さいました。厚く御礼申し上げます。

危ないと　子をしかるより　手を引こう

津奈木町の財政事情

津奈木町告示第44号

津奈木町財政事情の公表について

地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第二百四十三条の三第一項並びに、津奈木町財政事情の公表に関する条例（昭和三十九年条例第十一号）に基づき、津奈木町財政事情を次のとおり公表する。

昭和五十一年十一月一日
津奈木町長　六車孝吉

津奈木町財政事情
一、昭和五十一年度財政事情（昭和五十一年九月三十日現在）
二、昭和五十年度決算状況

まえがき

前回（昭和五十一年五月一日、町報一二三号掲載）に引き続きまして「財政事情」を公表し、町財政の現況をお知らせすることによって、町財政の実態について御理解をいただき、町政の発展について御協力を得るため公表しているものであります。

今回は、本年四月から九月までの昭和五十一年度上半期分の一般会計及び国民健康保険、簡易水道、農業共済の各事業特別会計の予算並びにその執行状況と、昭和五十年度の一般会計及び各事業特別会計の決算状況について公表いたします。

一般会計

昭和５１年度一般会計予算の９月末現在の総額は、歳入歳出それぞれ1,088,878千円となります。

歳入で（図１）に示す通り、町財政の６９％が依存財源です。自主財源中、財産収入２１％を差引くと、純自主財源は１０％となります。

歳出では（図２）赤崎小学校建設、大泊福浦合串漁港整備、城山線、金山線新設、町道舗装、ごみ焼却場建設等基盤整備に、乏しい財源の中で重点配分を行っております。

9月末の一般会計

表1 歳入　（単位　千円）

区分	金額	構成比	区分	金額	構成比
町税	57,785	5.3％	県支出金	53,021	4.9％
地方譲与税	9,400	0.9	財産収入	232,268	21.3
自動車取得交付金	6,000	0.5	寄附金	1.667	0.2
地方交付税	339,684	31.2	繰入金	13,704	1.3
交通安全対策交付金	500	−	繰越金	8,648	0.8
分担金及び負担金	5,293	0.5	諸収入	6,648	0.6
使用料及び手数料	10,294	0.9	町債	188,601	17.3
国庫支出金	155,365	14.3	歳入合計	1.088,878	100.0

表2　歳出　（単位　千分）

区分	金額	構成比	区分	金額	構成比
議会費	25,816	2.4％	消防費	12,890	1.2％
総務費	144,554	13.3	教育費	200,381	18.4
民生費	111.434	10.2	災害復旧費	13,576	1.2
衛生費	104,426	9.6	公債費	44,877	4.1
農林水産業費	168,202	15.4	諸支出金	168,458	15.5
商工費	548	0.1	予備費	1.000	0.1
土木費	92,716	8.5	歳出合計	1.088,878	100.0

図1.

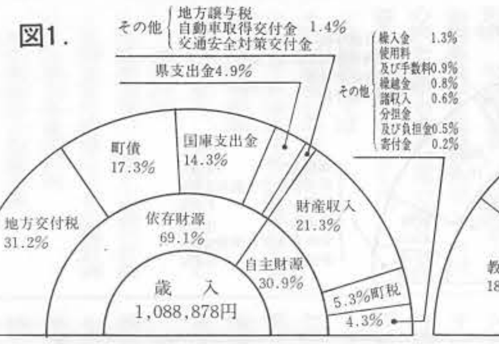


図2.

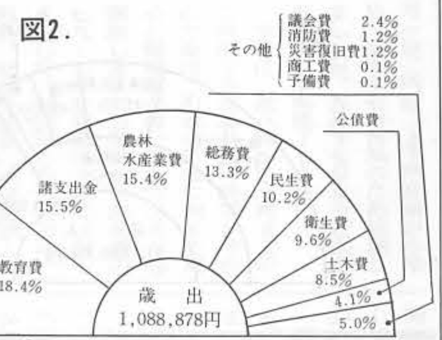


図5　地方債現在高調　S51．9末現在

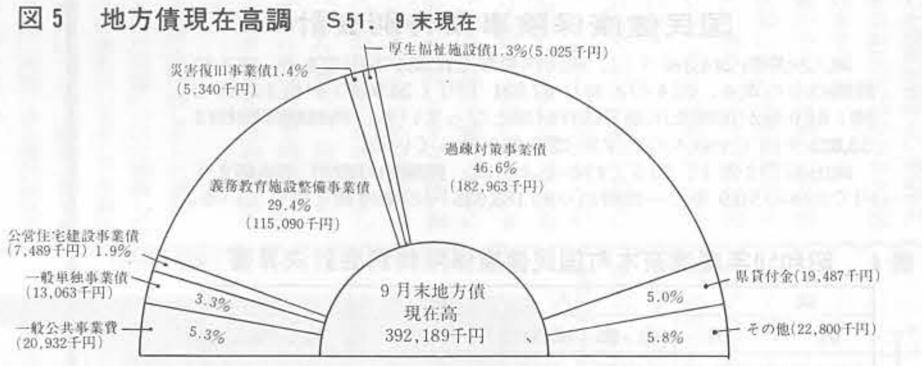


図3　住民の負担状況

町税　57,785千円

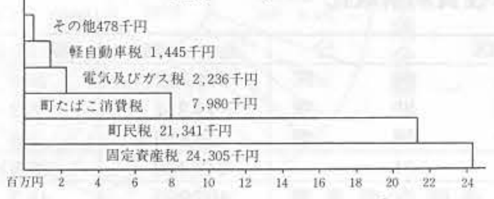


図4　分担金・負担金　5,293千円

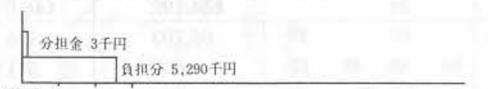


表3　公有財産の状況　（S 50. 3. 31）

分類	区分	土地	建物（延面積）	
			木造	非木造
行政財産	本庁舎	707 ㎡	624 ㎡	0 ㎡
	公民館	598	614	0
	学校	45,714	2,669	6,797
	幼稚園	1,471	447	0
	保育園	569	284	0
	公営住宅	3,206	460	720
	果樹指導所	13,253	116	45
	消防施設	防火水槽37基	火の見櫓	7 基
	その他	8,132	1.909	20
普通財産	山林	3,347,622	−	−
	その他	465,944	−	−
合計		3,887,216	7,123	7,582

表4　山林（立木）

土地の権利の区分	面積（㎡）	立木の推計蓄積量（㎥）
直営林	1.619,900	18,520
分収林	1.468,400	18,370
官行造林	243,300	8,619
合計	3,331.600	45,509

表5　基金

区分	金額（千円）
財政調整基金（一般）	56,784
仝　（水道）	372
診療費支払基金（国保）	18,296
退職手当基金	744
土地開発基金	4,331
国民年金印紙購入基金	2,500
奨学基金	2,643
合計	85,670

表6　貸付金

区分	金額（千円）
水保病被害者救済資金貸付金	1.300

簡易水道特別会計

表9　歳入　（単位　千円）

区分	金額	構成比	区分	金額	構成比
簡易水道収入	5,154	16.7％	寄附金	104	0.3
分担金及び負担金	5,356	17.4	諸収入	13	−
国庫支出金	1.300	4.2	町債	8,600	27.9
県支出金	67	0.2			
繰入金	10,056	32.6			
繰越金	200	0.7	歳入合計	30,850	100.0

表10　歳出　（単位　千円）

区分	金額	構成比	区分	金額	構成比
総務費	816	2.7％	予備費	281	0.9％
簡易水道事業費	22,816	74.0			
公債費	6,937	22.4	歳出合計	30,850	100.0

国民健康保険事業特別会計

表11　歳入　（単位　千円）

区分	金額	構成比	区分	金額	構成比
国民健康保険税	59,420	23.0％	繰入金	3,001	1.2％
使用料及び手数料	8	−	繰越金	13,000	5.0
国庫支出金	180,995	70.0	諸収入	1.507	0.6
県支出金	12	−			
財産収入	500	0.2	歳入合計	258,443	100.0

表12　歳出　（単位　千円）

区分	金額	構成比	区分	金額	構成比
総務費	10,800	4.2％	諸支出金	22	−％
保険給付費	239,586	92.7	予備費	7,034	2.7
基金積立金	500	0.2			
公債費	501	0.2	歳出合計	258,443	100.0

表13　農業共済事業特別会計　（単位　千円）

区分	歳入	歳出
農作物共済勘定	3,067	3,067
蚕繭共済勘定	192	192
家畜共済勘定	35,553	35,553
業務共済勘定	8,032	8,032
合計	46,844	46,844

表7　有価証券

区分	金額（千円）
株券	120
社債券	1.220
合計	1.340

表8　出資による権利

区分	金額（千円）
出資金	875
出捐金	1.787
合計	2,662

とび出すな　車のあとに　また車